

令和元年度県営林年度実施計画の達成状況について

1 概要

令和元年度県営林事業は、第2期県営林中期管理経営計画に基づき、事業地・事業体の確保による計画的な木材生産や、コストの削減、有利販売に取り組んだ結果、目標とする経常利益を確保した。

2 実施状況

(1) 成果目標

素材生産量の確保【計画 45,350 m³ ⇒ 実績 49,978 m³】

事業の早期着手や月次の工程管理を行った結果、素材生産量の目標を達成した。

(2) 主な取組

事業地・事業体の確保及びコスト削減・有利販売について、次の取組を実施した。

区 分	主 な 取 組
事業地の確保	前年度に実施した先行調査の結果を基に、施業プラン書作成、土地所有者交渉を行い、事業地（19 事業地）を早期に確保した。
事業体の確保	事業体が年間事業計画を立てられるよう、まとまりのある規模の事業地を早期発注し、事業体（16 団体）を確保した。
コスト削減	既存の集出荷施設に大ロットで直接出荷を行うことで、仕分け・運送コストの削減を図った。
有 利 販 売	取引実績のある県内製材工場や集出荷施設等に対して、需要に応じた直接協定取引（全取引量の 98.5%）を行うことで、売上高が計画を上回った。

3 事業計画と実績

木材生産の請負事業については、利用間伐は計画を上回ったが、主伐は収益が見込めない区域での実施を取り止めたため、計画を下回った。

バイオマス材は、発電の燃料としての需要に対応し、供給強化を図ったため、計画を上回った。

立木販売及び保育については、全体の収益を勘案し、事業量を調整したため、計画を下回った。

事業全体では面積は計画を下回ったが、材積は計画を上回った。

区 分				計 画 (A)		実 績 (B)		増 減 (B)-(A)	
				面 積	材 積	面 積	材 積	面 積	材 積
木 材 生 産	請 負 事 業	用 材	利用間伐	250 ha	15,000 m³	254 ha	15,229 m³	4 ha	229 m³
			主 伐	10 ha	2,600 m³	5 ha	1,315 m³	▲ 5 ha	▲ 1,285 m³
			計	260 ha	17,600 m³	259 ha	16,544 m³	▲ 1 ha	▲ 1,056 m³
		バイオマス材		—	3,750 m³	—	12,952 m³	—	9,202 m³
		計		260 ha	21,350 m³	259 ha	29,495 m³	▲ 1 ha	8,145 m³
	立木販売(主伐)		80 ha	24,000 m³	50 ha	20,483 m³	▲ 30 ha	▲ 3,517 m³	
	計		340 ha	45,350 m³	309 ha	49,978 m³	▲ 31 ha	4,628 m³	
保 育				200 ha	—	165 ha	—	▲ 35 ha	—
合 計				540 ha	45,350 m³	474 ha	49,978 m³	▲ 66 ha	4,628 m³
作業道開設 (延長)				55,000 m	—	57,080 m	—	2,080 m	—

4 収支計画と実績

木材の有利販売を推進するなど売上高の確保に努めるとともに、流通経費の縮減等により、目標とする経常利益を確保した。

(単位：千円)

区分	項 目		計画 (A)	実績 (B)	増減 (B-A)	備考(主な増減理由)
木材生産	①売上高	請負事業	236, 821	254, 966	18, 145	有利販売による販売単価の上昇
		立木販売	105, 024	90, 507	▲ 14, 517	立木販売（主伐）事業量の減
		計	341, 845	345, 473	3, 628	
	②生産原価		233, 123	223, 545	▲ 9, 578	請負事業（主伐）事業量の減
	③販売管理費		168, 931	165, 422	▲ 3, 509	請負事業（利用間伐）の仕分け、運送コストの減
	④営業利益		▲ 60, 209	▲ 43, 494	16, 715	①-②-③
	⑤営業外収益		192, 967	235, 688	42, 721	分収金（H30）の増加に伴う前年度繰越金の増
	⑥営業外費用		70, 823	123, 367	52, 544	分収金（H30・R 1）の増
	⑦経常利益		61, 935	68, 827	6, 892	④+⑤-⑥
保育	⑧販売管理費		69, 899	62, 146	▲ 7, 753	作業道補修費の減
	⑨営業外収益		23, 316	26, 931	3, 615	立木補償金の増
	⑩営業外費用		4, 468	4, 629	161	立木補償に係る分収金の増
	⑪経常利益		▲ 51, 051	▲ 39, 845	11, 206	⑨-⑧-⑩
⑫経常利益 計			10, 884	28, 983	18, 099	⑦+⑪
⑬特別損失			169, 014	165, 029	▲ 3, 985	職員給与費確定による減
⑭純利益			▲ 158, 130	▲ 136, 046	22, 084	⑫-⑬ 一般会計からの繰入必要額

5 分収造林事業の経営改革に伴う一般会計の負担

令和元年度は、県営林特別会計への繰出金 136 百万円と第三セクター等改革推進債償還金 1,299 百万円を一般会計から支出した。

(単位：百万円)

区 分	年 度				備 考
	H25	H26～H30	R1	累計	
県営林特別会計への繰出金	—	825	136	961	⑭純利益の赤字について、一般会計で補填
第三セクター等改革推進債償還	—	6,539	1,299	7,838	償還期間：H26～R5 償還予定額：13,001百万円
県債権放棄額	33,264	—	—	33,264	旧(一財)広島県農林振興センターの民事再生に伴う債権放棄

6 貸借対照表

固定資産は、森林資産が7百万円増加して5,585百万円となった。固定負債は、119百万円減少して1,193百万円となった。純資産は、127百万円増加して4,278百万円となった

(単位：百万円)

平成30年度決算				令和元年度決算見込			
流動資産	74	流動負債	189	流動資産	79	流動負債	193
固定資産	5,578	固定負債	1,312	固定資産	5,585	固定負債	1,193
〔森林資産 3,489〕 〔土地 2,089〕		純資産	4,151	〔森林資産 3,495〕 〔土地 2,089〕		純資産	4,278
計	5,652	計	5,652	計	5,663	計	5,663

※端数調整により合計が一致しない場合がある。